

須賀川市立義務教育学校「**稲田学園**」学園だより

とう oun
稲雲

第 1 1 号



令和4年10月14日発行

発行者：校長 小貴 崇明

○いわせ小学校陸上競技交流大会～男子走り幅跳びで優勝！～



10月6日（木）、鏡石町鳥見山陸上競技場において「いわせ小学校陸上競技交流大会」が開催されました。当日はあいにくの雨、そして低温という厳しいコンディションでしたが、稲田学園の代表として6年生が精一杯各競技に取り組みました。そして、この日を迎えるに当たって放課後の練習を積み上げてきた選手一人一人は、自分の目標に向かってよくがんばりました。

特に、男子走り幅跳びでは助走のスピードと踏切のタイミングがしっかりと合って、見事優勝することができました。そして、優勝した男子を6年生の仲間みんなで称え、喜びを分かち



合う場面も見られました。応援してくださった保護者の皆様、PTA役員の皆様、本当にありがとうございました。

○音楽部が3つの大会で全国大会出場！



稲田学園音楽部の快進撃が止まりません。日本管楽合奏コンテストの録音審査では、部員全員による演奏「斑鳩の空」が高く評価され、11月13日（日）、東京都文京区・尚美バリオホールで行われる同コンテスト中学校S部門に出場することが決定しました。

また、同じように録音審査による日本学校合奏コンクール・ソロ&アンサンブルコンテストでも、11月19日（土）に行われる全国大会（千葉市）に、2つのアンサンブル（9年生3人の「悲涙～虎になった男～」と16人による「斑鳩の空」）が出場することになり、2週連続での全国大会出場となりました。

さらに、10月10日（月）に行われたこども音楽コンクール東北大会・中学校重奏の部に福島県代表として参加した9年生3人のアンサンブルは「最優秀賞」を獲得し、全国大会出場（録音審査）ということになりました。これで3つの大会で全国出場です。歴史に残る大快挙となりました。すごいぞ稲田学園音楽部！



○環境問題を真剣に考えました～3Rって知っていますか?～



10月4日(火)、4年生の授業では、環境に関する様々な問題を考えるために、須賀川市役所環境課から講師の先生3名をお招きして、自分たちの住む須賀川市のゴミの問題や環境を守るための取り組みについて多くのことを学びました。

中でも、ゴミを単に捨てるのではなく上手に活用することで環境を壊さない3R(リデュース、リユース、リサイクル)について説明していただきました。今回学んだことを日頃から積極的に実践しようという感想が4年生からたくさんでました。

○松明づくりが順調に進んでいます

稲田学園松明づくり協力会を中心に、日本工営様、渡辺建設様、本校PTAや保護者の皆様の協力を得て、9学年による松明作りが順調に進んでいます。

①茅刈り(9月10日)

3年ぶりの本格的な作業で不慣れなところもありましたが、皆さんの協力のおかげで、短時間で効率よく、無事作業を進めることができました。汗を流しながら精力的に活動する子どもたちの姿に頼もしさを感じました。



②松明の畳表と垂れ幕の作製(9月27日)

新人戦の1日目、9年生が中心となり、新人戦に参加しない美術部や音楽部の7・8年生の協力も得ながら松明の畳表の作成と垂れ幕の文字入れを行いました。慣れない作業ですが、畳表をたこ糸で縫い合わせたり、学園の文字を白布にレタリングして塗りつぶしたりしました。



③茅運び・竹切り・竹運び(10月1日)

晴天に恵まれ「茅運び・竹切り・竹運び」を行いました。9学年の生徒の他、多くの皆様の協力を得て、スムーズに作業を行うことができました。これで、本松明制作の材料がそろいました。茅や竹の乾燥を待って、10月29日(土)にはいよいよ松明を制作します。



★言葉と生きる(11)「芸術も教育も目指すものは、 ナンバー1ではなくオンリー1」

芸術の秋にちなんでこんな言葉を思い出しました。名曲「世界に1つだけの花」の有名な歌詞にも同じような部分がありました。美術作品であれ音楽演奏であれ、その表現者にとって作品や演奏に込める思いに順位はつけられないように、私たち教師にとって子どもに順位などありません。子ども一人一人が唯一無二の存在としてとらえ、それぞれの個性、それぞれの才能に向き合っていかなければなりません。稲田学園が、そんな教師と子どものオンリー1の出会いの場になればと願いながら日々過ごしています。